

フジコナカイガラムシ情報第1号

平成23年6月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

フジコナカイガラムシの防除適期は昨年並で 6月7日～13日です

1 フジコナカイガラムシの防除適期

フジコナカイガラムシの成虫、卵、2齢、3齢幼虫はロウ物質に覆われ薬液をはじいてしまうため、薬剤散布による防除効果はほとんど期待できません。防除適期は、ロウ物質に覆われないふ化幼虫時期に限られます(図1)。そのため、ふ化幼虫発生時期が揃っている第1世代幼虫のふ化時期を把握して適期に薬剤散布することが重要です。



図1 フジコナカイガラムシの成虫、卵のう、ふ化幼虫

2 防除適期予測

有効積算温度を利用したフジコナカイガラムシ第1世代ふ化幼虫の発生ピーク予測日は、6月7日から6月13日です(表1)。

本年は3月下旬から4月下旬にかけて一時気温が低く推移したため、第1世代ふ化幼虫の発生ピーク日は、昨年並(平年より遅い)と予測します(表1)。

表1 フジコナカイガラムシの第1世代ふ化幼虫発生ピーク日予測

| | 愛西 | 東海 | 南知多 | 名古屋 | 豊田 | 岡崎 | 蒲郡 | 新城 | 豊橋 | 伊良湖 |
|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 本年予測 | 6/11 | 6/7 | 6/13 | 6/7 | 6/11 | 6/10 | 6/9 | 6/12 | 6/12 | 6/12 |
| (昨年) | 6/12 | 6/7 | 6/14 | 6/8 | 6/11 | 6/11 | 6/11 | 6/15 | 6/12 | 6/13 |
| 昨年差 | 1日早い | なし | 1日早い | 1日早い | なし | 1日早い | 2日早い | 3日早い | なし | 1日早い |

注) 本年予測月日は、5月26日までの気温については本年実測値を、それ以降は平年値(豊橋は昨年値)を用いて計算。

昨年については、昨年気温の実測値を用いて計算。

3 ふ化状況の確認

フジコナカイガラムシのふ化時期は、地域やほ場によって若干異なります。そのため、各ほ場内の卵のふ化状況を確認して防除適期を把握することが重要です。

【ふ化状況確認方法】

- ① 表1のふ化幼虫発生ピーク予測日の10日前頃に卵のうが多く発生するので、昨年発生が多かった樹の剪定傷跡や粗皮の隙間から、卵のうを2、3個採取します。
- ② 卵のうをシャーレ等の容器の中心におき、容器の縁にワセリン（軟膏やハンドクリームでも可）を塗り、容器を納屋など直射日光が当たらない場所に置き、毎日ふ化状況を確認します。
- ③ 卵のうからふ化した幼虫がワセリンに多数付着し、歩行している幼虫も多く見られるときが防除適期のふ化幼虫発生ピーク時期です(図2)。

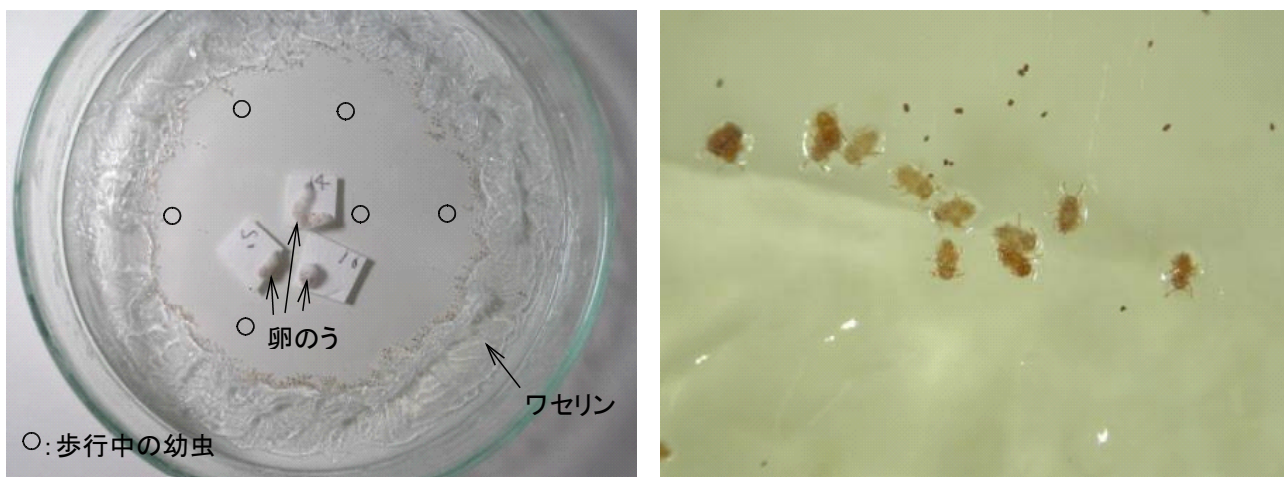


図2 ふ化幼虫発生ピーク時の状況(左)とワセリンに付着したふ化幼虫(右)

4 防除方法

- (1) 防除適期は、ふ化幼虫の発生時期が比較的揃う第1世代のふ化幼虫発生ピーク時期です。
- (2) 昨年、発生が多かったほ場では、表1を参考に第1世代ふ化幼虫の発生ピーク日を予想し、【ふ化状況確認方法】により各ほ場のふ化幼虫発生ピークを確認し、薬剤防除を実施しましょう。
- (3) アプロード水和剤(フロアブル)は遅効性ですが、残効性に優れているため、幼虫のふ化を確認したら速やかに散布しましょう。
- (4) 散布むらがないように十分な薬液量を丁寧に散布しましょう。

表2 フジコナカイガラムシの主な防除薬剤

| 作物名 | 薬剤名 | 作物名 | 薬剤名 |
|-----|------------------|-----|------------------|
| モモ | アプロード水和剤 | カキ | アドマイヤー顆粒水和剤 |
| | サイアノックス水和剤 | | モスピラン水溶剤 |
| | マラソン乳剤 | | スタークル/アルバリン顆粒水溶剤 |
| ナシ | アプロード水和剤 | ブドウ | アプロードフロアブル |
| | アドマイヤー顆粒水和剤 | | アドマイヤー顆粒水和剤 |
| | モスピラン水溶剤 | | モスピラン水溶剤 |
| | スタークル/アルバリン顆粒水溶剤 | | スタークル/アルバリン顆粒水溶剤 |

なお、薬剤は、ラベルを確認し収穫前日数に注意して使用してください。